

平成 26 年度生理学研究所研究会
グリア細胞機能から迫る脳機能解明

開催日：平成 26 年 10 月 23 日（木）～10 月 24 日（金）
場所：生理学研究所 山手 3 号館 2 階 西側セミナー室
（〒444-8787 愛知県岡崎市明大寺町東山 5-1）
提案代表者：田中謙二（慶應義塾大学医学部 精神神経科学教室）
所内対応者：池中一裕（生理学研究所 分子神経生理研究部門）
：清水健史（生理学研究所 分子神経生理研究部門）

10 月 23 日(木)

8:00-8:10 開会挨拶 田中謙二

座長 鹿川哲史（東京医科歯科大学、難治疾患研究所、幹細胞制御分野）

8:10-8:35 周至文 東京大学、薬学系研究科、薬品作用学教室
「光活性化アデニル酸シクラーゼ（PAC）の利用による脳内回路形成機構の解明」

8:35-9:00 森澤陽介 山梨大学、医学部、薬理学講座
「脳虚血傷害後、活性化アストロサイトは食能を獲得する」

9:00-9:25 石原良祐 慶応大学、医学部、精神・神経科学教室
「覚醒マウス fMRI のための馴化法」

9:25-9:50 磯村彰宏 京都大学、ウイルス研究所、増殖制御学分野
「遺伝子発現ダイナミクスの 1 細胞イメージングと光操作」

9:50-10:05 coffee break

座長 小泉修一（山梨大学、医学部、薬理学講座）

10:05-10:30 別府薫 東北大学医学系、脳神経科学コアセンター、新医学領域創生分野
「グリア細胞の活動操作による脳機能制御機構・病態進行機序の解明」

10:30-10:55 清水健史 生理学研究所、分子神経生理研究部門
「メカニカルストレスによるミエリン形成制御機構の解析」

10:55-11:20 森田晶子 奈良県立医科大学、医学部、第 2 解剖学講座
「endotoxin 投与により「脳の窓」脳弓下器官の透過性が制限される」

13:00-17:00 総合討論

座長 小山隆太 (東京大学、薬学系研究科、薬品作用学教室)

18:00-19:00 長内康幸 生理学研究所、分子神経生理研究部門

「神経サブタイプまたは神経活動に依存した髄鞘形成の解析」

19:00-20:00 相田知海 東京医科歯科大学、難治疾患研究所 分子神経科学分野

「グルタミン酸トランスポーターと精神神経疾患」

20:00- 反省会

10月24日(金)

座長 久場博司 (名古屋大学、医学系研究科、細胞生理学)

8:50-9:15 犬束歩 名古屋大学、環境医学研究所、神経系分野2

「薬理遺伝学的手法を用いた視床下部オレキシン神経の機能解析」

9:15-9:40 船水章大 沖縄科学技術大学院大学、神経計算ユニット

「二光子顕微鏡法によるモデルベース的意思決定の神経基盤の解明」

9:40-10:05 稲田浩之 生理学研究所、生体恒常機能発達機構研究部門

「Microglial respond to activity-induced axonal swelling」

10:05-10:20 coffee break

座長 清水健史 (生理学研究所、分子神経生理研究部門)

10:20-10:45 松本直之 大阪大学大学院、生命機能研究科、細胞分子神経生物学研究室

「神経活動依存的な視床軸索の枝分かれ形成機構 —シナプス形成の関与」

10:45-11:10 吉田知之 富山大学、医学薬学研究部、分子神経科学講座

「インターロイキン-1受容体ファミリー分子群による中枢シナプス形成の調節」

11:10-12:00 和中明生 奈良県立医科大学、医学部、第2解剖学講座

「神経活動により惹起されるアストロサイトの形態変化」